

WA からのお知らせ



OB役員が懇親会

グループ〈わ〉のOB役員懇親会が7月22日正午から県庁前のパレス神戸で開かれ28人が参加。昼食を共にしながら約3時間にわたって旧交を温めました。〈わ〉がNPO法人になって8年。初代理事長の赤司松美さん(生6)が、結成当時の苦労話や電話相談と未来館運営を神戸市から受託した経緯、会費を徴収することになった理由など、興味深いエピソードの数々を披露。参加者は熱心に聞き入っていました。現役員は3人が出席しましたが、「なぜ、もっと出て来ないんや」とお叱りをうけました。

福祉部会が活動発表会

福祉部会は11月20日(火)(13時~16時30分)、カレッジ学習室で福祉部会に所属するグループの活動発表会を開催。福祉ボランティア同士の交流を深めます。賀川記念館の語り部による講演、「賀川ハルの生涯を学ぶ」のあと、明生園もみじ会・あんだんて・クレヨン・一寸奉仕の4グループが、歌唱や手品、朗読、大道芸を披露。8グループがパネル展示をします。問い合わせは〈わ〉本部・加藤勇治まで。

電話相談の女性スタッフ募集



グループ〈わ〉は神戸市こども家庭センターから、休日・夜間の電話相談業務を委託されています。虐待や非行にまつわる通報を受ける仕事で、資格や専門知識は特に必要ありません。女性スタッフに欠員があり募集します。執務は、休日(土・日・祝)の8時45分~17時で月1回程度。交通費などが支給されます。やってみたいと思われる方は、〈わ〉本部(743-8101)までご相談下さい。(担当・岸本清)

●一の谷プラザが臨時休館

11月25日(日)に行われる神戸マラソンで、一の谷プラザが10キロコースのゴールになり、控室などに使用されるため前日の午後と当日は全面休館となります。問い合わせは一の谷プラザ(731-8353)へ。

●「ぎやらりー わ」アンケートのお願い

会報「ぎやらりー わ」とホームページについて、読者アンケートを11月末締め切りで実施します。よりよい誌面をめざし、ご意見・提案をお願いするもので、回答用紙は10月号に同封しています。ご協力ください。

●61号(1月号)の発行は2013年1月中旬です。

区会のお金は

つよやき

〈わ〉の会員はすべて居住地の区会メンバーとして登録されます。ご本人の意思とは無関係です。一方、部会のグループは参加・不参加は自由ですから、どれにも入らない人も、

いくつも入っている人もいます。自発性を重んじるボランティアの立場から考えるとこのほうが本来の姿と言えそうです。しかし区会はその拘束性(きわめて緩いのですが)のゆえに〈わ〉の組織を下支えする役割を果たしているのです。

それでも区会には関係ないと思っている方はいませんか?これだけは忘れていただかないようお願いしておきます。あなたが《わ》に納めた年会費1500円のうち400円は無条件で区会に割り戻されるのです。在籍人数分が一括して交付される仕組みになっており、須磨区会では年に8万円ほどを受け取っています。これは皆さんが出してくださったお金にほかなりません。

それをどう使うか、皆さん、関心を持たずに済ませておいてよいのですか?区会運営に対して発言する権利があることをぜひ頭に入れておいてください。(須磨区会長 細野恵久、福3期)

編集後記



★東北へボランティアに行きたいけれど、「忙しい 62%」し、「遠い 55%」から無理、との世論調査結果が出ました(8月4日・読売朝刊)。カレッジ関係者も同じような傾向じゃないか、と感じています。この1年半で意識が変化しており募金への熱が冷めつつあることなどが理由です。今後どういう形で支援を継続したらいいのか、か問われる秋です。

★第3次東北支援チーム17人が、“大役”を果たして帰ってきました。銭太鼓や歌のメンバーを新たに加え、現役も4人という混成チームでしたが、皆さんやる気満々で仮設の方々や子供たちに楽しんでもらえたと思っています。11月には女川・石巻から講師を招き、報告会を開きます。東北大地震への関心を持ち続けよう、との願いからです。

★東北ばかりじゃないよ、と叱られそうですが、夏休みは子供たち向けの行事がいっぱい。夏祭り・昆虫採集・工作塾…。「すごい盛り上がり」とはスタッフの感想ですが、写真や記事でその雰囲気だけでも感じていただけたでしょうか。(広報・南形徹)